

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 北4東6周辺地区の環境性能評価(第一工区)施設建設等 中央体育館

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音					3.0	0.23			3.8
1.2 遮音					3.0	0.40			3.4
1 開口部遮音性能					3.0	1.00			
2 界壁遮音性能					3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-			
1.3 吸音					3.0	0.20			
2 温熱環境									
2.1 室温制御					3.1	0.44			3.1
1 室温					3.3	0.50			
2 外皮性能	A				3.0	0.50			
3 ゾーン別制御性					3.0	0.17			
2.2 湿度制御					4.0	0.33			
2.3 空調方式					3.0	0.20			
					3.0	0.30			
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備	A								
3.2 グレア対策									
1 昼光制御	A								
2 曇り基対策									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策					4.0	0.33			4.0
1 化学汚染物質					4.0	0.50			
2 汚染物質対策					4.0	1.00			
4.2 換気					3.5	0.30			
1 換気量					3.0	0.50			
2 自然換気性能					4.0	-			
3 取り入れ外気への配慮					4.0	0.50			
4.3 運用管理					5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視					5.0	0.50			
2 喫煙の制御					5.0	0.50			
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ					4.8	0.40			4.8
1 広さ・収納性					5.0	0.40			
2 高度情報通信設備対応					3.0	-			
3 バリアフリー計画					5.0	1.00			
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30			
1 広さ感・景観					5.0	-			
2 リフレッシュスペース					5.0	-			
3 内装計画					5.0	1.00			
1.3 維持管理					4.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保					5.0	0.50			
3 清掃・管理業務					5.0	-			
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震					3.9	0.30			3.9
1 耐震性					3.8	0.50			
2 免震・制振性能					4.0	0.80			
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20			
1 躯体材料の耐用年数					4.0	0.30			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B				4.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B				5.0	0.20			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B				4.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B				4.0	0.10			
6 主要設備機器の更新必要間隔	B				3.0	0.20			
					4.0	0.20			
2.4 信頼性					4.0	0.20			
1 空調・換気設備					4.0	0.20			
2 給排水・衛生設備					5.0	0.20			
3 電気設備					5.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20			
5 通信・情報設備					3.0	0.20			
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり					3.7	0.30			3.7
1 階高のゆとり					4.0	0.30			
2 空間の形状・自由さ					4.0	0.30			
3.2 荷重のゆとり					4.0	1.00			
3.3 設備の更新性					4.0	0.30			
1 空調配管の更新性					3.4	0.40			
2 給排水管の更新性					3.0	0.20			
3 電気配線の更新性					3.0	0.20			
4 通信配線の更新性					5.0	0.10			
5 設備機器の更新性					5.0	0.10			
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20			
					3.0	0.20			

CASBEE_Sapporo2014v1.2
 北4東6周辺地区市営地再開発事業(第一工区)施設建築物等 中央体育館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出			C			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		まちなみや地域の歴史性に応じた景観配慮を行っている。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮						4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	広場や歩道沿い空地の整備による地域性への配慮を行っている。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制	A					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用	A				外気冷房	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 1.04 住宅(専有部) -	2.0	0.50	-	-	2.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					2.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A					-	-	-	-	
4 効率的運用						4.0	0.20	-	-	4.0
集合住宅以外の評価						4.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					4.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						-	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護						3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水					節水器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無					有	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						4.3	0.60	-	-	4.3
2.1 材料使用量の削減		B				3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			高炉セメント	5.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B			躯体、仕上材は容易に分別可能な計画としている。	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					有害物質を含まない材料を使用している。	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B			N2	4.0	0.50	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	0.50	-	-	
3 冷媒		B				-	-	-	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		B				2.9	0.33	-	-	2.9
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B			地域冷暖房システムを設置利用。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					駐車、駐輪スペースを適切に整備。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	ゴミ、堆雪に対して適切なスペースを確保している。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	0.33	-	-	
2 振動						3.0	0.33	-	-	
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	
3 日照障害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						4.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					上部配光の無い外灯を採用し、サイン照明を最小限としている。	4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						4.0	0.30	-	-	